

図書館だより

2020.7.1

鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部

附属図書館 第13号

こんにちは附属図書館です！まだ梅雨明けきらぬ日が続きますが、みなさんの体調はいかがですか。朝起きて体調がすぐれない時は、ぜひ白湯を一杯飲んでみてください。体が温まると呼吸が楽になり、気分もよくなりますよ。ぜひお試しください。

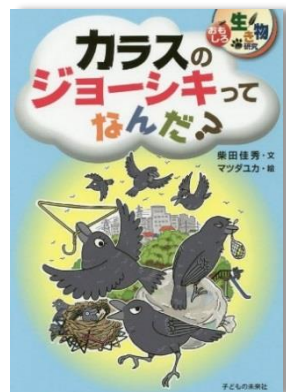
さて、今回は沢山入荷した先生の本を紹介したいと思います。

先生になろう！

すべての教育の基礎は小学校でほぼ決まるといっても過言ではありません。今はこんなに楽しいテキストが用意されています。豊かな知識と感性を持った子どもを育てることは、未来を育てることではないでしょうか。



491.34/Ka53



488/Sh88



375.49/Ma74



375.76/N18



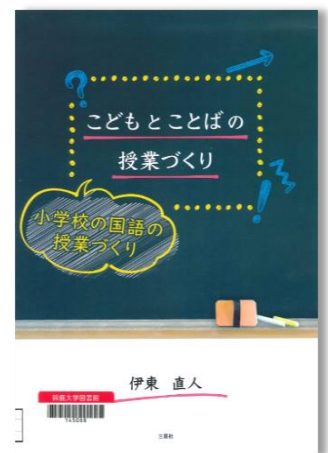
375.1/Ta82



375/N32



375.199/Ko12



375/189

伊東直人先生著

先生のおすすめの本

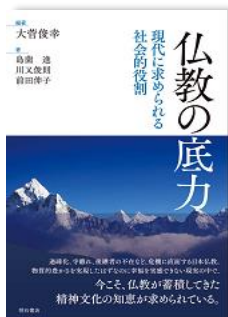
周国龍（国際地域学科）

『数字とことばの不思議な話』窪園晴夫 著 岩波ジュニア新書 岩波書店

毎日いろいろな数字を使っている我々ですが、数字の不思議さ、面白さに気づいていただいでしょうか。1月1日、2月2日、3月3日…10月10日までの読み方はどんな規則性が潜んでいるのでしょうか。「おやつ」は「お八つ」と書きます。これは数字と何か関係があるのでしょうか。また「やくざ」は、よもや数字を連想されないでしょうか、実は数字の・8 9 3から来たのです。それでは、もともとは何に使われ、何の意味だったのでしょか。日常生活に何とも思わない数字にどんな規則が潜んでいるのか、どのように変化したのか、この本を読んだら「目からうろこが落ちる」楽しみが待っています！ 815.2/Ku13



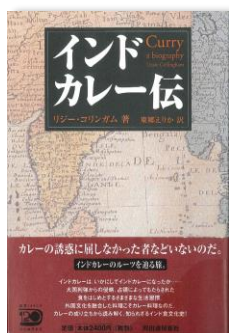
7月の本



川又俊則先生共著 かつて寺院は宗教活動以外にも、読み書きを教えたり、よろず相談所であったり、地域の拠点としての役割を果たしてきた。高齢化、過疎化、核家族化、都市への人口流出、そして後継者の不在などにより、2040年までに仏教寺院を含め35%の宗教法人が消えてなくなるといわれている。このような時代に寺院は、仏教者は、どのような役割を果たすことができるだろうか。

161.3/O79 1F 新着コーナー

高度成長期の昭和。バブルの平成。そして、「人口減少社会」の令和が始まった。「拡大・成長」という「成功体験」幻想を追い続け、「先送り」されてきた、「持続可能な社会」モデルを探る。社会保障や環境、医療、都市・地域に関する政策研究から、時間、ケア、死生観等をめぐる哲学的考察までジャンルを横断した研究や発言を続けてきた第一人者による10の論点と提言。364/H71 1F 新着コーナー



そもそもカレーはインドになかった。各地方でスパイスを使った料理はあったが、今みるようなカレーはイギリスやポルトガル、ムガル帝国などに占領されたときに、文化や生活習慣の影響を受けて出来上がったものなのである。

各章のタイトルはカレー料理の名前になっていて、料理の知られざる歴史が語られる。歴史に思いをはせながら、夏にじっくり味わってみたいものである。

383.8/C84 1F 新着コーナー

【お知らせ】

6/29（月）から学生教職員の方の貸出を再開します。

学外の方はまだご利用いただけません。

6～9月のカレンダーはこちらをご覧ください。

<https://www.suzuka-iu.ac.jp/facilities/library.html>

お問い合わせは 電話番号 059-372-2121

